第15号

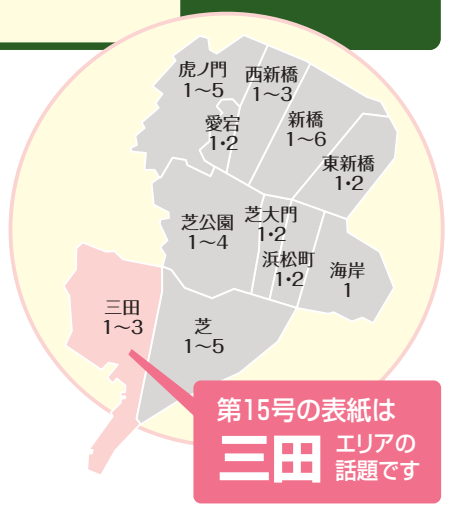
芝地区地域情報誌

発行元
港区
芝地区総合支所
協働推進課
【発行部数 27,900部】

平成22年
5月20日発行

『芝地区地域情報誌』は、地域の皆さんとともに創る情報誌です。芝地区の「いい話」を紹介したり、様々な行事や活動の情報を交換したり、地域の皆さんと一緒に地域のことを考えていく場として、地域情報誌を発行しています。

綱坂



第15号の表紙は
三田 エリアの話題です

平安時代に思いを馳せる…

三田の坂めぐり

綱の手引坂

綱坂／綱の手引坂（つなざか／つなてびきざか）

平安時代中期の武将、渡辺綱（953～1025）に由来すると言われる坂が三田にあります。綱坂と綱の手引坂です。

源頼光に仕えた渡辺綱は「大江山の酒呑童子退治」で有名で、「頼光の四天王」の一人です。「羅生門の鬼退治」で知られる剣術の腕前は、四天王の中でも一番だったと伝わっています。

このあたりは以前三田綱町と呼ばれ、渡辺綱の出生の地であるとの伝説があり、そこから“綱”という名が地名や坂の名に残されているようです。

綱坂は、三田2丁目の慶應義塾大学西門の道に沿ったところにあり、ひっそりと静かな雰囲気の坂です。

綱の手引坂は姥坂などとも呼ばれ、都立三田高校、赤羽小学校に面し、坂を上った高い台地には樹木が多く、大木が茂っています。綱の幼少時代、姥が手を引いて上ったり下ったりしたことに由来して、“綱が手引坂”と呼び、“姥坂”とも言ったのでしょう。

木立に囲まれた静かな綱坂・綱の手引坂の周辺には、綱町三井倶楽部や簡易保険事務所、イタリア大使館などの著名な建物が立ち並んでいます。

遥か昔の剣勇伝説に思いを馳せながら、皆さんも坂めぐりをしてみてはいかがでしょうか。

info
綱坂…三田2-3、2-5の間
綱の手引坂…三田1-4、2-6の間

三田 赤羽橋・赤羽町界隈「橋めぐり」

港区には大きな川がなく、「橋」は古川に架かる小橋と運河の多い芝浦港南地区に集中しています。今回ご紹介する三田1丁目の北側の地域には赤羽橋・中之橋・新堀橋などがあり、それぞれが麻布地区に架かる橋です。

文政11年（1828）の地図によると、現在の三田1丁目あたりには有馬玄蕃等の大名屋敷があり、橋には「アカハ子ハシ」が、通りには「アカハ子」の名が書かれています。図には中之橋も描かれています。池波正太郎著『鬼平犯科帳 本門寺暮雪』には“長谷川平蔵は江戸城の西面を赤坂へ出て、増上寺をすぎ、赤羽橋へ出た。役宅から二本榎までは二里ほどである”と赤羽橋が登場しています。

昔このあたりには土器職人が多く居住し、赤い素焼きの土器「赤埴」がこの地の呼称となり、いつの頃よりか「赤羽」の字に書き改められたとも言われています。江戸時代の初めまでは、赤羽川の水を利用した水田でしたが、明暦年間（1655～58）に久留米藩有馬家の上屋敷となりました。明治4年（1871）屋敷跡は明治政府工部省に属し、翌5年（1872）赤羽川・赤羽橋にちなんで赤羽町と名づけられました。この藩邸内にあった久留米から分祀された水天宮の社は、明治5年に現在の日本橋蛎殻町に移されました。

現在の**赤羽橋**は昭和49年（1974）に完成。幅30メートル・長さ17.5メートルで古川に架かる国道1号線の橋として交通の要所であるとともに、ここから見る東京タワーは絶景です。**中之橋**は、新堀橋架設以前に赤羽橋と一之橋との間にあったことからついた橋名で、大正15年（1926）に鋼橋となり、昭和60年（1985）に架け替えられました。

新堀橋は旧芝区新門前町にあった橋で新門前橋と呼ばれていました。現在の橋は昭和44年（1969）に完成。車1台がやっと通れる幅2.7メートルの狭い橋です。

大きく蛇行しながら流れる古川は、その上を高速道路が通るまさに大都会の川です。川底も見えず黒く淀んではいますが、いつの日にか橋の上から魚影が見られるようになると思いたいですね。

〔文・写真■岩崎 秀顕〕

赤羽橋

中之橋

新堀橋

info
赤羽橋…三田1丁目、芝3丁目から東麻布1丁目、芝公園4丁目に至る
中之橋…三田1丁目から東麻布1・2丁目に至る
新堀橋…三田1丁目から東麻布2丁目に至る

港区で楽しむアート 9

絶世の美女が訴えてくるもの…
慶應義塾図書館旧館 大理石彫刻『手古奈』

三田特集の今回は、慶應義塾図書館旧館の玄関ホールに設置されている大理石彫刻『手古奈』をご紹介しましょう。

彫刻家・北村四海(1871～1927)による『手古奈』は、慶應義塾創立50年の図書館建設に合わせて北村本人から寄贈されました。しかし、昭和20年(1945)の空襲とその後の混乱により破損してしまい、今も見る者には痛々しく感じられます。戦禍の痕跡をとどめるため、修復はあえて最小限になされたということです。長らく塾内の倉庫に保管されていましたが、60余年ぶりに公開されました。

『手古奈』とは万葉集にも詠まれた絶世の美女のことで、今の千葉県市川市真間にその伝説が語り継がれており、真間には今でも、『手古奈』が毎日水を汲みに来た井戸が残されているそうです。彫刻の手古奈のそばにも“甕”が置かれています。北村によるこの『手古奈』は、美しいのはもちろんですが、被災の跡が生々しく、生命の大切さを一層けなげに訴えてきます。

明治を代表する大理石彫刻家・北村四海は、長野の宮大工の家に生まれ、幼い頃から芸術的センスを磨いてきました。ブロンズが主流であった当時の彫刻界において、本格的に大理石彫刻をパリにて学び、安田善次郎などのパトロンにも恵まれました。現存する作品は他にも、旧安田楠雄邸（文京区）、東京国立近代美術館などに所蔵されています。

（敬称略）

〔文■小知和 千佳子〕

写真提供：
慶應義塾大学

info
慶應義塾図書館旧館
三田2-15-45

7ページでは掲載記事の所在地を地図上でご案内しています！

イタリア大使館 訪問記

庭園から見た大使館

イタリア大使館は高台にあるため、桜田通りからも麻布十番からも坂を上っていきます。綱町三井倶楽部との間の坂道（綱坂）を上ると左右に大木がうっそうと茂っています。

イタリア大使館敷地の一角には忠臣蔵赤穂浪士最年少の大石主税を含む10名が切腹した場所があります。元禄16年（1703）当時は四国伊予松山藩主「松平隠岐守」の中屋敷で、明治以後は公爵松方正義邸となっていました。

もともとイタリア大使館は虎ノ門にあり、関東大震災後の昭和7年（1932）に、日本政府が都市計画のため三田の松方公爵邸との土地交換を提案し、当時6,000坪あった三田へ移ったという経緯があります。

現在の官邸は、イタリア人建築家ピエール=フランチェスコ・ボルゲーゼ氏や村田政真氏により昭和40年（1965）に完成しました。そこから見える日本庭園の原型は、江戸時代に造られたといわれますが、よく手入れが行き届いていて、見る者の心を癒してくれます。池には赤い小さな橋が架かり、古色を帯びた灯籠に、大名屋敷のあった頃からの年月が偲ばれます。

INTERVIEW

駐日イタリア大使 ヴィンチェンツォ・ペトローネ氏に聞く

今回、平成20年（2008）に就任したペトローネ駐日大使にお話を伺うことができました。少し緊張した空気の中でのインタビューをご報告します。

※〔　〕はインタビュアーの補足です。

Q 日本を旅行された中で印象的なところは?

大使：高野山です。僧侶や大名のお墓に参り、総持院の宿坊にも泊まりました。

Q 日本に紹介したいイタリアの観光スポットを教えてください。

大使：有名な観光地ではなく、地方の小さい町をお薦めします。たとえばローマをはずして、トスカーナに行く、シエナも良いですし、小さな町ウルビーノもすばらしいです。

ホテルはあらかじめ決めないで、旅先でみつけるのもおもしろいでしょう。買い物も小さな町のほうがおすすめです。もし10日間あったらあちこち見ないで、一か所にとどまり、じっくり見るのもいいですよ。

大使から頂いた大使のお好きなイタリアの風景写真（トスカーナ州 カパルビオ）

Q 芝地区の印象は?

大使：東京中を見渡しても住むのにすばらしい場所です。交通の便もよく、道路もきれいで、表示もわかりやすく、その上治安も良いです。

〔大使は汐留のイタリア公園、イタリア街にも行かれたことがあるそうです〕

Q 忠臣蔵は切腹という結末を迎えますが、これがイタリアならどうなると思いますか?

大使：イタリアには切腹という習慣がないので、キリスト教の修業僧になるかもしれません。時の権力に反抗したり、社会的に不名誉な立場になったりしたとき、イタリアでは僧院に入るということがありました。僧院といってもその生活は学術研究の場であったり、畑を耕しておいしいものを作ったりしていました。実際僧院でリキュールが生まれたのですよ。

Q 大使のお好きな日本料理、イタリア料理は?

大使：好きな日本料理はおそばです。天ぷらも大好きです。おそばの上に天ぷらが乗っているときは、サクサク感を残すために天ぷらだけ脇に寄せておきます。また好きなイタリア料理は、トマトを使ったパスタです。

〔両方ともシンプルでありながら、奥が深いところが共通していると言えるでしょう〕

私は「イタリアンレストランに行こう」と言われると少しがっかりします。なぜならイタリア料理といっても、その地方によって全然違うからです。フランス料理とイタリア料理の関係は、中華料理と日本料理の関係に似ていると思います。イタリア料理は素材を大切にし、あまり油を使わないところが日本料理に共通しており、反対にフランス料理と中華料理は素材にいかに手を加えるかということ、つまり調理法に重きをおいています。

〔大使はお料理についてもとてもお詳しいようでした〕

Q 大使館にお勤めの方のお子さんたちはどんな学校に通っているのでしょうか?

大使：イタリア語の学校は日本にありませんので自分の場合、2人の娘は日本ではフランス語の学校に通い、上の娘はヨーロッパの大学に行きました。

Q 日本の小・中学校教育についてどう思われますか?

大使：日本の公立学校には英語以外の、ドイツ語やフランス語などの外国語のクラスがあまりないのが残念です。

＊　＊

イタリアでの携帯電話の保有率は90%で世界一だそうです（『イタリア病の教訓』松本千城著）。それだけコミュニケーションを大事にして、おしゃべりも楽しむという国民性が伝わってきます。

「花冷え」という言葉がぴったりのこの日、大使はお忙しい中、予定の時間を超えて、質問に1つ1つ丁寧に答えてくださいました。コミュニケーションを大切にしていることがよくわかり、うれしく思いました。

それにしても、日本人は本当にイタリア好きなようです。2009～2010年の主なイベントだけでも以下のようなものがあります。

- ●トリノ・エジプト展
- ●古代ローマ帝国の遺産 —栄光の都ローマと悲劇の街ポンペイ—
- ●イタリアの印象派　マッキアイオーリ展 —光を描いた近代画家たち—
- ●ボルゲーゼ美術館展
- ●ナポリ、宮廷と美—カポディモンテ美術館展　など

そして、イタリアンレストランも東京だけで、1,600軒もあるそうです。

〔文■伊藤 泰子／写真■張簡 光輝〕

ピッツァの定番マルゲリータはイタリアの国旗の色と同じ（緑はバジル、白はモッツァレラチーズ、赤はトマト）

■参考文献
・大石主税以下切腹跡 港区文化財のしおり（国・都指定文化財編）P31 港区教育委員会
・イタリア共和国 外務省ホームページ
・新個人旅行 イタリア07～08 昭文社
・イタリア病の教訓 松本千城著 洋泉社 2007

info イタリア大使館
三田2-5-4
TEL 03-3453-5291

芝の食文化

精進料理について『醍醐』で聞く
五観の偈※の気持ちで味わえば、滋味を知り、自然に感謝する心が生まれる

精進料理

※五観の偈（ごかんのげ）…主に禅宗において食事の前に唱えられる偈文（げもん＝仏の教え）のこと。

鎌倉幕府が開府した頃、宋から栄西が帰国し神道を伝えました。その後に道元が帰国して越前福井に永平寺を創建し曹洞宗宗祖となります。

道元禅師は禅宗の修行の1つである殺生戒の精神で、展座（料理長）と呼ぶ僧に精進料理を伝授しました。精進料理は魚介や肉類を避け、穀物・野菜・海藻のみの植物性の素材を使った栄養バランスの良い食事で、多種で豊富な献立に驚きます。その後、各地の禅寺に料理法が広まり代々受け継がれながら、時代の変化や寺独自の料理が作られて多様化していきました。

鎌倉時代以前には9世紀（平安初期）に空海が唐の長安から帰朝し、紀州高野山に真言宗を開いて金剛峯寺を創建し、そこで精進料理を振る舞いました。江戸時代になると明から隠元和尚が来日して、京都伏見の黄檗山に万福寺を創建し、そこで中国風精進料理の黄檗料理を確立しています。

曹洞宗の流れに沿った精進懐石料理を提供している芝愛宕下の『醍醐』は、昭和25年（1950）に隣の青松寺の隠居部屋跡に1室だけの精進料理店として創業しました。創業者の女将は飛騨高山の料亭『角正』から料理人を招き、評判が広まって徐々に部屋数を増やし、風格のある一軒屋の名店として存在を高めたそうです。

平成15年（2003）に高層マンションに建て替えられ、現在はそこの2階で営業されていて、料理は2代目野村正夫氏と3代目大輔氏が、接客サービスのほうを3代目の弟の祐介氏が担当され、店を盛り上げています。

8室（うち2室は茶室に造られています）ある部屋は、部屋ごとに異なるしつらえや調度品が高級料亭としての趣を醸しています。各部屋から望む庭園はわざわざ京都から庭師を呼び、京都の苔と土、石を運んできて造ったもので、日本の庭園美を表現しています。夜は点々と明かりが灯り、一層静寂なムードが漂います。取材した日は折しも雨が降っていて、青々した苔がみずみずしく輝いていました。庇が目線まで長く張り出しているのは、周囲の景色を遮断し非日常の世界へ招き入れるという配慮からだそうです。軒下の沓脱ぎ石にはトンボが刻まれて遊び心がうかがえます。

日本料理の基礎ともいわれる精進料理は、「五観の偈という季節の恵みに感謝する気持ちと素材を作る人、運ぶ人、料理する人の心が判りますと、料理が一段と美味しく楽しく感じていただけると思います」と話す3代目は、日々料理に精進されています。

〔文■千葉 みな子／写真■張簡 光輝〕

醍醐の料理は3年連続で『ミシュランガイド東京』の2つ星の評価を得ています（写真は八寸…右上から時計回りに、松風、納豆しぐれ、菜の花のからし和え、桜花寿司、金柑、大徳寺麩、下には山葵の葉が敷かれている）

3代目・野村大輔氏

近くの愛宕山から小鳥たちがやってくる広々とした庭園

info 醍醐（だいご）
愛宕2-3-1 愛宕グリーンヒルズ フォレストタワー2F
TEL 03-3431-0811

芝次郎の園芸講座

今回はミニトマトの育て方をご紹介します。

ミニトマトの育て方

今年の夏はプランターでミニトマトの収穫を楽しみましょう。自分の手で大事に育てたミニトマトは、きっとひと味違うはずです。ミニトマトの寄せ植えにはバジルがおすすめです。料理の相性もばっちりですね！

ミニトマトの種類
- ●ミニキャロル
- ●レッドルビー
- ●サンチェリー

など

トマトは雨が嫌いなので、雨が当たらない場所で育てましょう。

ミニトマトの育て方

❶ 植えつけ
4～6月の間に苗を植えつけます。プランターは深さのあるものを使いましょう。

❷ 支柱・誘引
植えつけたら、倒れないように支柱を立てます。その後、茎が出てきたらまっすぐ伸びるように、支柱に茎を麻ひもなどを8の字にかけて留め、誘引します。

❸ わき芽とり
芽が繁りすぎると実のつきが悪くなります。そうならないように主な枝を1本だけ伸ばすように、わき芽を小さいうちに摘み取っておきます。

❹ 摘芯
最上段の花が咲いたら、実に栄養がいくように、先端をハサミで切り取り、主枝の成長を止めます。

❺ 収穫
実が真っ赤になったら収穫しましょう!

☆寄せ植えにおすすめのバジルは、乾燥しないように水をたっぷり与え、挿し木で増やします。

区役所のサービスや施設・催しの案内は みなとコール がお答え します！ TEL 03-5472-3710 年中無休 午前7時～午後11時

特集：地域で学ぶ

芝地区内にある「学びの場」をクローズアップします！

港区立 エコプラザ

オーガニックライフを身近なモノ・コトにしていくキッカケの場所

オーガニックをおしゃれに生活に取り入れる達人を目指す、『オーガニックライフスタイリスト講座』が人気のエコプラザを訪れました。この講座は港区在住・在勤・在学の方が対象で、費用は基本的に無料です。

エコプラザはJR浜松町駅北口から徒歩3分ほどのところにある、木の香りがいっぱいに広がる心地良い空間です。こちらでは主に『CO_2フリー・オーガニック・森づくり』の3つのテーマのもとに様々な講座やイベントの開催などをしています。最近は、選挙の投票会場にも使われていますので訪れたことがある方も多いのではないでしょうか。

今回は『オーガニックライフスタイリスト講座』のコーディネーターをなさり、オーガニックコンシェルジュとして活躍中の岡村貴子さんにお話を伺いました。

＊　＊

『オーガニック』とは、化学肥料などを一切使わない“有機栽培”のことです。この講座の目指す『オーガニックライフスタイリスト』とは、オーガニックを通じて多様化する私たちの暮らしを見つめなおし、自らの健康だけではなく、自然環境保護や社会とのつながりを大切にする生活を実践し、その提案ができる人のことです。講座は全8回で、1時間30分の講義を2週に1回行っています。内容は、まずオーガニックの基礎知識『オーガニックとは？』から始まり、言葉の意味、起源、歴史や有機JAS規格の認証はどのようにするのかなどを学びます。次に衣・食・住のオーガニックの基礎講義が3回あります。例えば『衣』の講義では、普段当たり前のように身につけているコットンに、生産・製造過程において農薬被害など様々なひずみが生まれているという実態を知って、衝撃を受ける受講者が多数いらっしゃるとのことです。

『食』『住』の講義では、毎日食べるものや洗剤、家具など私たちをとりまく空気、空間のオーガニックについて学びます。そのあと、応用編で世界のオーガニック事情、地球環境との関係などを学びます。また、各分野の専門家を招いてのトークショーやワークショップがあり、ディスカッションも行われ、さらにはオーガニックワインのテイスティング（利き酒）もあります。『オーガニック』を知るための入門の講座ではありますが、内容は濃く、発見と驚きの連続です。受講者は女性が多いのですが、老若男女様々な人が集まります。授業の出席率は非常に高く、講座が終了する頃には連帯感も生まれ、その後一緒に活動をする人もいます。また、学んだことを現在の仕事に応用する人や新しく何かを始める人もいて、人生が変わるきっかけづくりにもなっています。自分の内側の知識だけではなく、自分の外側のモノやコトがきちんと客観的に見えてきて、その知識をどのように自分の毎日に活用していくかということが、オーガニックを学ぶことによって、自然にできるようになるのかもしれません。

＊　＊

受講生や卒業生同士の交流も盛んです。昨年11月にはオーガニックスタイリスト文化祭をエコプラザで開催しました。様々なショップも参加し大盛況でした。今後も多くの人に専門的な学びを提供していきたいので、現在『メンズオーガニック講座』を企画中で、岡村さんは「どんな生徒さんが集まるか楽しみです」とのことでした。

エコプラザでは今後はCO_2省エネカウンセラー講座や森づくりに関する講座などを予定しています。ほかに、環境について英語で学ぶ講座や和紙工芸家の方を招いての紙すき教室なども人気です。また『アースデイマーケット』を定期的に開催し、有機野菜の直売や、手作りジャム、旬の野菜を使った料理教室などがあり、予約ですぐに満員になる講座もあります。『学び』を通して、同じ興味をもって集まった誰かと話したり、話を聞いてみたりして自分の思考が変化していく――人とふれあうという一人ではできない『勉強』がエコプラザにはあります。ここに来れば何かある、そう思わせてくれるエコプラザに出かけてみませんか？

〔文■小林 真紀子〕

●写真提供：エコプラザ

港区立 エコプラザ
浜松町1-13-1
TEL 03-5404-7764
●開館時間 9時30分～20時
●休館日 毎月第4月曜日（祝日に当たるときは翌日火曜日）、年末年始（12月29日から1月3日）
●ウェブサイト http://www.eco-plaza.net/

港区立 生涯学習センター（ばるーん）

生涯学習と地域での『学び』

慶應義塾大学三田キャンパス東門向かい側に位置し、今年1月7日にオープンしたばかりの「芝コミュニティはうす」（芝5-13-15）にて、経験豊富な、港区立生涯学習センター・前センター長の清田和美氏に生涯学習、地域での『学び』についてお伺いしました。

芝地区管内の新橋には、学習の機会・場・情報を提供する生涯学習の拠点施設として設置された『港区立生涯学習センター（ばるーん）』があります。

この施設は平成3年に統廃合により113年の歴史に終止符を打った旧桜田小学校を改修して設置されたもので、小学校当時の資料などが展示されている『桜田記念室』もあり、卒業生など懐かしさから足を運ばれる方もいます。

施設にはさまざまな活動に対応できるよう広さや形態の異なる12の学習室やレクリエーションルームがあり、社会教育関係団体（生涯学習センター、青山生涯学習館を拠点として自主的に活動する登録団体）等が活動しています。

社会教育関係団体にはどなたでも入会できますし、年1回、生涯学習センター利用団体の活動成果の発表や交流の場として『フェスティばるーん』も開催しています。

何か学びたいという方は、お気軽に生涯学習センターにお越しください。

港区立 生涯学習センター（ばるーん）
新橋3-16-3
TEL 03-3431-1606
（生涯学習推進課生涯学習係 TEL 03-3578-2741）

■生涯学習に対する関心の高まり

「近年、勉強しよう！という人が増えています。」

清田氏のこの一言に目が開かれました。

一般的に『学び』というと、小学生・中学生といった義務教育や高校生・大学生などの高等教育など学校教育を主流とした“学生”をイメージします。

しかし、近年、社会人のキャリアアップ、仲間づくり、社会の第一線から退いたあとの趣味や娯楽として、また、ボランティアや地域社会とのつながりとして自らの「知りたい！学びたい！」という探究心や「人生を楽しみたい！」という気持ちを表現する場として、生涯学習という『学び』が実践されているのです。

生涯学習には、講師と生徒との1対1の関係のみではなく、同じ志や興味を持つ“同志”の出会いの場として一般のカルチャースクールにはない魅力があります。

そこには、行政側や講師が一方的に教える授業にとどまらず、生徒間で情報を共有し、教えあい学びあうことで仲間をつくり、共に成長しようという積極的な学びのスタイルの変化という背景があります。

実際に先生・生徒同士が仲良くなり、講座終了後お茶に行き、熱き思いを語り合うなど、講座を飛び出し、グループになることもよくある話です。

■“きっかけづくりの場”として気軽に参加を

「近年俳句や華道やお茶、ダンスなどの講座が人気です。日本の伝統文化が見直されてきています。」と清田氏は話します。生涯学習センターを利用して開催されているシリーズものの講座も好評を得ています。

あなたも、探究心や関心を高める生涯の学習、そして心通いあう生涯の友と知り合う“きっかけづくり”として、生涯学習に取り組んでみてはいかがでしょうか。

〔文■日下部 理絵〕

慶應義塾大学 アート・センター

港区と協働して『アート・マネジメント講座』開催

慶應義塾大学アート・センターでは、地域に密着した取り組みが積極的に行われています。今回、アート・センター所長の美山良夫教授に地域との関わり方についてお話を伺いました。

慶應義塾大学三田キャンパスに近い三田2丁目に、慶應義塾大学アート・センターがあります。アート・センターでは文化的・芸術的感性の醸成を目指し、講座やワークショップなどの様々な催しをキャンパス内外で開催しています。これらの催しに、大学の学生や教職員だけでなく地域住民や一般市民の積極的な参加を呼びかけています。

港区は平成18年度に、港区文化芸術振興条例を制定し、区内にある多くの文化施設、企業、NPOや文化芸術関係者との連携を図り、港区ならではの文化芸術振興を進めています。アート・マネジメント講座は、区民の文化芸術活動の活性化のために平成18年度から、区とアート・センターの協働で始まりました。

アート・マネジメント講座では誰でも気軽にアート・マネジメントの世界に触れることができる『公開講座』と、実践的な知識を学ぶ『ワークショップ』とが開催されています。公開講座は毎回テーマを設定し、年3回開催しています。ワークショップは昨年度、音楽を主体とした『上演系』と、美術等に関わる『展示系』の系統別で行いました。

昨年度の上演系ワークショップは、港区にある文化・芸術に関わる資源を活用したコンサートの開催を目的に、約20名の区民とともに企画立案をおこない、歴史的なステンドグラスが残る教会で2回の公演を実施、区の今後の文化振興につなげるとともに研修の成果を区民に還元しました。今年度も同じ趣旨で開講します。

展示系は地域のアート資源を知り、生かすことをテーマにワークショップを行いました。最後は受講生が中心となった展示発表に結びつけるもので、21年度は、『東京タワー』をテーマにした展覧会を開催し、3日間で約270人もの来場者がありと大盛況でした。

区民の学びにつなげていくことがアート・マネジメント講座の目的のひとつであり、大学との協働で行うメリットです。

■区民向け講座を行う意義や意図について

港区の文化環境として、3つの特徴が挙げられます。第1は、外国人や国際経験豊かな人が多く、住んでいる人も国際的なことです。つぎに、文化・芸術に関する知識が高い人が多く、区民の文化芸術に対する関心が多様なことです。講座で高度な内容に話がおよんでも充分に参加者の方は対応できています。3つ目は、区内に文化的・芸術的資源が豊富にあり、歴史的背景も豊かなことです。

住民の知識や関心の高さ、歴史、豊かな環境がこれだけそろっている街は日本中探しても他にないと思います。このように、文化資源に恵まれた港区で、区民向けの講座を行うのはとても意義のあることです。

アート・センターの講座は、区から『受託』しているものではなく、区との『協働』で行っている事業です。大学の研究所としては、この講座やワークショップは、『市民社会におけるアート・マネジメント教育のあり方』についての研究の『実践の場』でもあります。この実践をもとに研究を深めることにより、よりよい講座をつくっていくことができると考えています。

また、行政が行うことが難しい調査・研究を大学側が担い、港区には豊かな資源がある事実を再発見し、

■ネットワークの機会づくり

アート・センターは、アートを通じたネットワークの機会づくりの場でもあります。受講生たちは、『港区の文化・芸術振興のために何ができることはないか』という想いを抱いて講座に参加しています。一人で考えても分からないことでも、何人か集まり意見を交換する中でさまざまなネットワークが生まれ、アイデアが生まれます。アート・センターの講座を通じて出会い、受講後は受講生たちが自発的に活動をしていってほしいと考えています。

講義だけでなく、地域の企業の協力による展覧会など、地域の連携を図るさまざまな企画も行っています。このような取り組みは、企業としても、地域貢献、教育貢献、そして持っている資源の活用という面でも非常に有意義なことだといえます。

■これからの展望

区民による、区施設のより有効な活用を促進したいと思います。一人ひとりが小さな想いを持っていても、それを形にするプランをまとめるのはなかなか難しいことです。想いを形にするには、第一にアイデアの提供、第二にリーダーの養成、そして第三に資金・情報の提供が必要です。アート・センターは、区とともに文化・芸術振興への想いを持っている人の後押しをし、その方法を区民とともに探っていくことに意義を見いだしています。

慶應義塾大学 アート・センター
三田2-15-45
TEL 03-5427-1621
●ホームページ
http://www.art-c.keio.ac.jp/
●アート・マネジメント講座についての問い合わせ先
地域振興課文化協働推進係
芝公園1-5-25
TEL 03-3578-2111（内線2343）

主な講習会のご案内

★詳細は各主催者までお問い合わせください。

開催場所	講習会名	備　考
主催者 港区立 エコプラザ		
港区立 エコプラザ	グリーンライフスタイルイングリッシュクラス	6月から毎週火曜日開講予定 英会話をとおして、環境問題について、外国人講師から学びます。 費用：500円（港区民）
	CO_2省エネカウンセラー講座	7月から毎週水曜日に開講予定 CO_2排出量の算定方法などを、専門の講師から学ぶ入門講座。 費用：無料
主催者 公益財団法人 港区スポーツふれあい文化健康財団		
港区立 生涯学習センター（ばるーん）	パソコンたまり場	8月を除く毎月第3土曜日に開催 パソコン操作初心者向け 申込み：不要 費用：500円
	歌声喫茶	6月26日（土）14時半～16時 飲み物を片手に、懐かしい童謡や唱歌をみんなで歌います。 申込締切：6月14日（月）必着 費用：300円
	親子陶芸教室	7月30日（金）・31日（土） 小学4年生以上の児童と保護者 申込締切：7月14日（水）必着 費用：500円
主催者 港区（共催：慶應義塾大学 アート・センター）		
慶應義塾大学 三田キャンパス 北館ホール	アート・マネジメント講座2010 第1回公開講座「音楽の心と技をひらく」	6月5日（土）13時半～16時 申込み：不要（定員200名） 費用：無料 お話：ジャック・ルヴィエ
慶應義塾大学 三田キャンパス 他	アート・マネジメント講座2010 ワークショップ	7月開講予定 目的・テーマ別に4クラスに分かれて実施。詳細は広報みなと5月11日号、チラシ・ポスターや、慶應義塾大学アート・センターのホームページをご覧ください。 受講料：各クラス3,000円

区役所のサービスや施設・催しの案内は みなとコール がお答え します！ TEL 03-5472-3710 年中無休 午前7時～午後11時

SiBA Review. 芝レビュー　工部大学校附属工部美術学校

～白馬会～美に魅せられた西洋画家たち

列島がゆっくりと花に染められ、
今年も富士山が一枚の絵にかわる。
その美しさに息をのむ。
これをどうキャンバスに収めようか、
しばし絵筆がとまる。

◆わが国における洋画教育は明治9年（1876）の工部美術学校（現虎ノ門）の設置に始まる。イタリア人風景画家のフォンタネージを教師に招き、日本画にはない写実、色彩、陰影、構図など画法の習得と指導者の育成にあたった。その工部美術学校が、美術界の復古運動の中で廃校となった後は、わが国の洋画教育は専ら明治美術会と横山松三郎（明六開塾）、本多錦吉郎（彰技堂）、小山正太郎（不同舎）、山本芳翠（生巧館）、原田直次郎（鐘美館）らの画塾において磨き上げられ、塾生が例外なく画壇の発展を支えた。その厳しさは、毎日、午前8時より午後5時まで鉛筆デッサンと写生を繰り返し、水彩画、油彩画も自由に描くことが許されるまで最短で6～7年を要し、また、画題となる文学、歴史、外国語を独習したとあることからも伝わってくる。

◆画家への道は今も険しく、狭き門である。しかし、明治草創期は、いかに画才に優れた者でも画業を目指すことを許される時代ではなかった。それは法医工文理の学士、官吏、軍人を至上とする当時の常識からあまりにもかけ離れていたのである。

◆フランス留学をおえた黒田清輝、久米桂一郎らは、第1回近代オリンピックと同年の明治29年（1896）、東京美術学校に西洋画科を、芝に画壇の新派となる白馬会を設立し、日本近代洋画史を方向づける行動に出た。黒田作品「湖畔」は第2回白馬会出品作だが、それまでにない明るさを取り入れて「外光派」を印象づけた。

◆芝・三田地域と白馬会、画家との地縁は「旧藩邸」にある。薩摩は、黒田清輝、藤島武二、和田英作、有島生馬、橋口五葉、海老原喜之助、東郷青児、山口長男、吉井淳二、彫刻でも忠犬ハチ公像（初代）の作者安藤照、新納（にいろ）忠之介と実に多い。中沢弘光は東京に生まれたが、久米桂一郎、岡田三郎助は佐賀、三宅克己（こうき）も徳島から旧藩邸に関わって上京した。

◆白馬会で終生の画友、三宅克己と和田英作は、御田、鞆絵と小学校こそ違うが、共に明治学院に学んで、大野画塾（曾山幸彦）、鐘美館で才を競い、区内、武蔵野の風景を写生し多くの秀作を残している。三宅は、風景画に金を付けて買う奇特な人はいないので、横浜の画商に売っていたが決まった収入はなく、挿絵、彩色で食い繋いだとある。学院の先輩である島崎藤村と小諸で再会し教師生活も短期間おくるが、徴兵されて命の儚（はか）さを悟り渡欧を決意、水彩画の才を磨いた。和田英作は、油彩は何度でも直せると水彩は三宅の才に譲り、西洋画科助教授の招請も実力なしと1年間美術学校に入学した薩摩の剛直者。美術学校では岡本太郎など多くの生徒を育て、学長を最後に、富士を描きたいと三保に移り住んだ。富士には、つつじと桜が似合うと樹木を清水市に贈り、無心に絵筆を動かしていたという。幾多の画家に描かれる富士も、美しい心にならなければ、美しい絵が描けないようである。

（敬称略）

〔文■佐藤 剛志〕

和田英作筆「富士（河口湖）」　鹿児島県歴史資料センター黎明館蔵

参考文献：三宅克己著「思い出づるまま」「日本人の自伝19」平凡社 1982

芝の話題　日本光輪会・光輪洞と合気道の起源について

飯倉交差点を東京タワー方面へ曲がるとすぐ左手に光輪会館の建物が見えます。ここは平井稔氏（1903～1998）が創設した日本光輪会合気道本部で、地下2階に道場があります。道場の畳に座らせていただき、現在の洞主である孫の平井齊（ひとし）氏（麻布小卒業）に稔氏や合気道についてお話を伺いました。

「合気道」の名称は、「大日本武徳会」によって昭和17年（1942）に制定されました。

大日本武徳会は明治28年（1895）4月に日本古来の武道の奨励を目的とし、公共の全国組織として京都で発足しました。大日本武徳会は柔道、剣道、弓道、各種武道などの部門に分かれて活動し、学校教育をはじめ、社会全般への武道の普及と保存にめざましい成果を上げていました。しかし、昭和になって各部門の専門化とスポーツ化の進展によって、「日本の古来の武道」の特徴である体術、剣術などを同時に使える日本古来の総合武道体系の消滅が危惧されるようになりました。武道の専門家や研究者の間で新しい武道部門の制定の声があがり、大日本武徳会では柔道部門と剣道部門が協力して新部門の編成にとりかかりました。大日本武徳会は、総裁、理事など総合的な役職の下に、各部門の責任者として幹事を任命していましたが、新しい部門の中心幹事に平井稔氏を指名しました。当時、平井稔氏は柔道部門に所属し、柔道達士の称号を持ち、各種武道称号審査員、陸軍憲兵学校教官、大日本武徳会の東京支部長などの職責にありました。また武道の分野では大日本武徳会本部の剣道教授・奥村二刀流の奥村寅吉門下で剣を得意として、竹内流、起倒流、力信流など古式の体術、剣術、杖、槍、手裏剣等も修練して、すでに自らの道場を持って総合的な武道体系を編成していました。

大日本武徳会では、平井稔氏を中心に「実践的綜合武道としての合気道部門」の組織作りと武道体系の編成に入り、練習の方法として、無手の体さばき7本、体術、剣術、杖の型、乱捕りの方法および武道で最も重要な体のさばきなどを制定して、各県庁所在地にある総合武道場である武徳殿を中心に講習会を開催しました。戦後、平井稔氏の功績に対して大日本武徳会より範士の称号が授与されました。合気道における範士の称号所有者は、戦前戦後を通じて平井稔範士がただ一人であります。

大日本武徳会は昭和21年（1946）10月、米国進駐軍の指令で解散しました。これは合気道に限らず剣道、柔道などすべての武道は進駐軍に制約され、武道の空白時代になったのです。知名度の低かった合気道については、その後、大日本武徳会以外の流派で合気道の名称を使うところも増えて、合気道の名称が広まることになりました。

大日本武徳会の剣道は、一般に「大日本武徳会流剣道」といわれます。合気道・道場「光輪洞」は大日本武徳会の武道の系譜を継ぐもので、当時の合気道関係者と平井範士門下でつくる各地の光輪洞が集合して日本光輪会を編成しています。

なお、平井稔範士は戦中戦後を通じ、武道以外の分野でも多方面にわたり活動していて、特に昭和20年（1945）に終戦処理にあたった東久邇稔彦内閣では近衛文麿副総理付の内閣嘱託、戦後は警察の再編成時に警察官逮捕術の制定委員、福祉の分野では各地で母子寮、保育園を運営する社団法人の育成などに従事しました。また、戦時中には早期停戦を望むグループの重要な一人としての活動が、歴史資料の中に実名で記載されています。

平井稔氏は平成10年（1998）96歳で亡くなられました。毎年11月の行事として、明治神宮内苑の西御門内芝生において合気道の「明治神宮例大祭奉祝演武」をいたします。

＊　＊

以上が平井齊氏から伺ったお話です。道場に座っていると、何か身の引き締まる思いがいたします。

〔文■柴崎 賢一・柴崎 郁子／写真■佐藤 剛志〕

乱捕り稽古

稽古始めの礼

info　日本光輪会本部
芝公園3-6-23
TEL 03-3431-7211

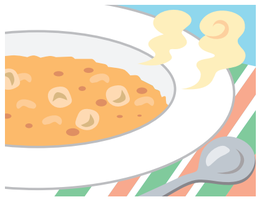
洞主／平井 齊
東京道場 師範／土井 久俊

大使館で取材した郷土料理 ⑧

イタリア

「ひよこ豆のスープ」

Zuppa di Ceci（ズッパ ディ チェチ）



イタリアの伝統的スープの一つです。ひよこ豆はサラダや煮込み料理にも使われます。もちろん、パスタ料理ともよく組み合わされ、イタリアのお袋の味として知られています。

【材　料】（5人分）

ひよこ豆（乾物）	400g
セロリ	適量（目安：1本）
にんじん	適量（目安：1本）
玉ねぎ	1/2個
にんにく	少々
フレッシュハーブ（ローズマリー、ローリエ、セージ）	適量
オリーブオイル	適量
水	700cc
塩・こしょう	適量

【調理時間】

豆を浸す時間	12時間
準備	10分
加熱	1時間15分

【作り方】

1. ひよこ豆を水に一晩浸す。
2. セロリ、にんじん、玉ねぎをみじん切りにする。
3. 水に浸しておいたひよこ豆を軽くすすぎ、水を切る。
4. 鍋にオリーブオイルを入れ、セロリ、にんじん、玉ねぎを炒め、ひよこ豆を加え、蓋をして弱火で数分蒸し煮する。
5. 水700ccを加え、中火で50分煮る。
6. 塩、こしょうで味を調える。
7. 火から下ろし、約半量（お好み）のスープをミキサーにかけてから鍋に戻し、スープに濃度をつける。
8. ローズマリー、ローリエ、セージを糸で束ねる。
9. フライパンにオリーブオイルを入れ、8のフレッシュハーブとスライスしたにんにくを炒める。
10. スープを深皿によそい、ハーブとにんにくで香りの付いた油を少々かける。

芝地区MAP

本誌に掲載した記事に出てくる施設などをまとめました。ウォーキングマップとしてご活用ください。

しばのいえ にっき　「芝の家」日記

寒かった冬も終わり、木々の緑も活き活きとしてきました。芝の家の縁側に座って、暖かな陽射しを浴びながら春を感じてみませんか。

■2月初旬　留学生ジョン帰国

大学が春休みに入る頃、スタッフとして芝の家に関わってくれた留学生のジョンが半年間の留学を終えてオーストラリアに帰国しました。自分と世代の異なる人たちと接する機会というのは日本人学生にとっても少ないですから、留学生にとってはなおのことです。

ジョンの場合、芝の家に来ることで、小学生たちといっしょに遊んだり、お年寄りとお話ししたり、町会の餅つきに参加したりと、特別なことはないけれど、素のままの東京の日常に触れることができたのではないでしょうか。またいつか会える日をみんな楽しみにしています。

■2月よく晴れた日　ハーブ喫茶開催

健康づくりプロジェクト「えんす～ぶ」の企画で、ハーブ喫茶を開催しました。お客さんに心と体の状態を伺って、数種類あるハーブティーの中から体調に合ったものをお薦めします。この日は天気にも恵まれ、犬の散歩の途中に縁側でひと休みしながらハーブティーを飲む人の姿もありました。自分の体や心の声に耳を傾けることは、忙しさのなかでおろそかにしがちですが、ハーブティーをきっかけに少しでも意識を向ける時間をつくれたらいいですね。

＊芝の家健康づくりプロジェクト「えんす～ぶ」
ひとびとが自分の健康を楽しみながら毎日を大事にする、老いや病も助け合いながら生活の中に受け入れる、そしてあたたかさの中で生きて死んでいく。健康づくりを通して縁をつなげ、楽しく健やかに暮らせるコミュニティづくりに取り組む活動です。「えんす～ぶ」とは、「縁をつなげる健やかプロジェクト」の略。

■2月末　緑を通して交流を

芝の家では、昨年の夏頃から、育てたゴーヤや朝顔などの植物を近隣の軒先に設置してもらい、それらの世話を通して、住民と学生のあいだに交流が育まれてきました。その中で、芝のまちを緑と花でいっぱいにしたいという住民の想いと出会い、いろは通り（芝3丁目）周辺の民家や商店に協力をお願いしたところ、約15軒で鉢植えを置いてもらえることになりました。

ある日曜日に行われた「植えつけ会」では近隣の親子や学生、お年寄り、若い夫婦など20人の参加者が、色とりどりの春の花の苗を鉢に植え替えて、預かってくれるお宅へ届けて回りました。まだまだ規模は小さいですが、少しずつ、緑の輪を広げていきたいと思います。

■3月　レコードコンサート1周年

昨年のちょうど今頃に第1回目のコンサートを開いてからもう1年がたち、コンサートも今回で4回目を迎えました。選曲をしてくれる地元町会長さんの解説も回を追うごとに滑らかになり、レコード盤に針を落とす役目の芝の家スタッフとの息もぴったり合ってきました。

毎回参加してくださるファンからリクエストも寄せられています。毎回手伝いに駆けつけてくれる小学生もいて、このコンサートが芝の家に集う人たちによって育てられてきたイベントであることをつくづくと感じます。

■3月末　卒業を祝う会

卒業の季節です。いつも遊びに来ている小学6年生と、この1年間芝の家を支えてくれた大学4年生の卒業を祝う会として、卒業お花見ピクニックを企画しました。しかし当日はあいにくの雨。そんなこともあろうかと事前に準備しておいた満開の桜の絵を窓に貼ってなんとか気分を出し、持ち寄ったおむすびや団子をほおばりました。その日お誕生日を迎えた子のお母さんが手作りのケーキを携えてやって来て、お誕生会も開かれ、お祝いムード満点の1日でした。

info　芝地区昭和の地域力再発見事業拠点「芝の家」
芝3-26-10
TEL 03-3453-0474
●月・火・木　11時～16時開室
水・金・土　13時～18時開室
●ウェブサイト http://www.shibanoie.net/

区役所のサービスや施設・催しの案内は みなとコール がお答え します！　TEL 03-5472-3710　年中無休　午前7時～午後11時

芝レポート

おなりもん安全マップ作り ～新橋児童館～

info
新橋児童館
新橋6-4-2
TEL 03-3433-4005

新橋児童館で毎年行われている「おなりもん安全マップ」作りが、愛宕警察署や御成門小学校PTA、地域の方の協力のもと今年も1月20日（水）に行われました。

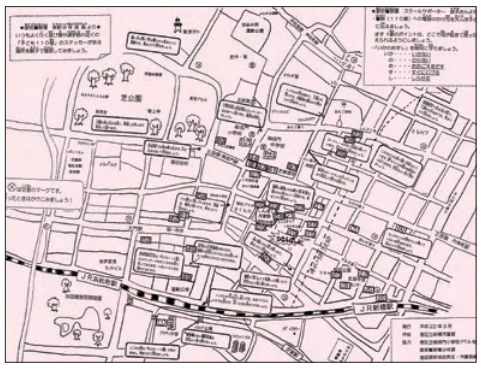
今回は児童館に通う子どもたちがよく使う道を中心に東新橋から浜松町周辺までの、「子ども110番」のシールが貼（は）ってあるコンビニエンスストアや施設などを巡りました。

シールが見やすいところに貼ってあるかなどを、子どもたちと地域の人が一緒に確認していきます。確認していく中で、「シールが貼ってある場所が通りから見えにくい」「子どもの目線よりも高い位置にある」という意見が出たところがありました。

子どもたちには、危険なことが起きたときに駆け込めるお店を教えていくとともに、お店や施設には、「子ども110番」シールの見やすい掲示をお願いしていきます。

また、人通りが少ない通りや車の交通量が多い道路などを皆で確認し、日頃から危険な箇所を認識して、気をつけていくよう呼びかけました。

地域を実際に歩き、定期的に地域の安全について考えることが、より安全・安心なまちづくりにつながるのでしょう。



芝高齢者在宅サービスセンター お散歩で「芝の家」まで！

芝高齢者在宅サービスセンターでは、デイサービスの中で“地域のお散歩”を行っています。

3月23日（火）午後の散歩では、デイサービスを利用されている方3人とスタッフの方4人が、芝3丁目のコミュニティスペース「芝の家」に立ち寄りました。お天気はあいにくの曇りで、まだ風が少し肌寒く感じられる陽気でしたが、皆さんは芝の家で思い思いに過ごし、お散歩を楽しみました。

芝高齢者在宅サービスセンターでは、今後も芝の家をお散歩コースにしていく予定です。地域全体で見守って、お年寄りが安心して暮らせるまちづくりにつなげていきたいですね。

info
芝高齢者在宅サービスセンター
芝3-24-5
TEL 03-5238-0848

つけましたか？ 住宅用火災警報器！

平成22年4月1日から
すべての住宅（共同住宅も含む）に住宅用火災警報器の設置が義務化されました！

火災警報器とは？

火災による**煙**を感知する **煙式**

火災による**熱**を感知する **熱式**

火災の他に**ガス漏れ**を感知し知らせてくれる **複合型**

※**すべての部屋、台所、階段に設置が必要**です（浴室、トイレ、洗面所、納戸などは含まれません）。
※住宅用火災警報器は、防災設備取扱店や電気器具販売店、ホームセンター、家電量販店などで、購入できます。

港区でも助成・支援を行っています！

区では購入・設置にかかった費用の2分の1（上限1万円）を助成する『住宅用火災警報器設置助成事業』と、対象世帯に対し警報器を支給・設置する『高齢者・障害者世帯に対する住宅用火災警報器設置支援事業』を行っています。対象・申請方法・内容についてはお問い合わせください。

●**申請期限：6月30日（水）**

●**問い合わせ先 みなとコール** TEL 03-5472-3710
担当：防災課 生活安全係

info
芝消防署
TEL 03-3431-0119
FAX 03-3433-1920

都税についてのお知らせ

納税証明に関するお知らせ

「滞納処分を受けたことのないことの証明」と「酒類製造販売等の免許申請のための証明」がいずれの都税事務所・都税支所・支庁でも発行できるようになりました。

なお、複数の都税事務所より課税されている場合でも、一つの都税事務所等に申請していただくことで、納税義務者にかかるすべての都税についての証明を行います。

主税局イメージキャラクター
タックス・タクちゃん

〈都税における納税証明書の取り扱い〉

証明の種類	申請先事務所
納税証明（一般用）（自動車税以外）	全都税事務所、都税支所、支庁
納税証明（一般用）（自動車税）	全都税事務所、都税支所、支庁、都税総合事務センター及び自動車税事務所
滞納処分を受けたことのないことの証明	全都税事務所、都税支所、支庁
酒税製造販売の免許申請のための証明	全都税事務所、都税支所、支庁
自動車税納税証明（継続検査等用）	全都税事務所、都税支所、支庁、都税総合事務センター及び自動車税事務所

※地方法人特別税（国税）については、法人事業税と合算額で証明を行います。

東京都主税局ホームページ（http://www.tax.metro.tokyo.jp/）

●問い合わせ先　港都税事務所徴収管理係 電話 03-5549-3800（代）

募集！ 芝地区総合支所では2011年版芝地区オリジナルカレンダーを作成します。

カレンダーに掲載する写真として、あなたが芝地区で撮った四季折々の風景や思い出の場所、心に残る場所などの写真を募集します。

作品には住所（在勤、在学の方は所在地も明記）、氏名、電話番号を添えて、8月27日（金）までに芝地区総合支所管理課まで郵送、または持参によりご応募ください。

※人物を特定できる写真はご遠慮ください。

第5回 ふれ愛まつりだ、芝地区！を開催します

芝地域の皆さんが参加し、出店やコンサートで地域の交流を深めます。スタンプラリーや平和への願いをこめた折り鶴を折り、楽しい1日を過ごしましょう。

●と　き　6月5日(土) 9時30分～18時45分（小雨実施・荒天中止の場合あり）

●ところ　区立芝公園

●問い合わせ・写真応募先 芝地区総合支所管理課調整係 〒105-8511 東京都港区芝公園1-5-25 TEL 03-3578-3191（直通）

芝地区まちづくり組織の活動

芝地区総合支所管内には、「港区まちづくり条例」に基づくまちづくり協議会があります。平成20年5月に「環状2号線新橋地区環境・まちづくり協議会」として登録し、現在環状2号線が開通した後のまちづくりについて勉強会等を開催しています。

◎活動報告 ･･･ 5月19日（水）14～16時、生涯学習センター（ばるーん）で総会を開催しました。

5月は「赤十字運動月間」です

期間中は、皆さんのお宅に赤十字協賛委員（町会や自治会の役員）や赤十字奉仕団員が、活動資金の協力のお願いに伺います。皆さんから寄せられた活動資金は、日本赤十字社の人道支援活動に使われます。

なお、平成21年度区に寄せられた活動資金の金額は、582万565円でした。ご協力ありがとうございました。

●問い合わせ先 日本赤十字社東京都支部 TEL 03-5273-6742

「みなとコール」は暮らしの疑問にお答えします！

区役所のサービスや施設案内、催し情報など、お気軽にお問い合わせください。

年中無休／午前7時～午後11時

※英語での対応もいたします。

ゴヨウ（は）ナーニ　ミナト（コールです）
TEL 03-5472-3710
FAX 03-5777-8752
Eメール：info@minato.call-center.jp

警視庁犯罪被害者ホットライン

被害者や家族の相談窓口です。

迷わずに勇気を出して相談してください

匿名でもOK　秘密厳守　お気軽に

TEL 03-3597-7830
FAX 03-3592-6840
愛宕警察署

芝地区地域情報誌・編集委員を募集しています！

芝地区の話題を発掘し、取材していただく地域情報誌・編集委員（記者）を募集します

【対　象】芝地区管内に在住、在勤、在学で取材に携わりたい人

【内　容】地域の話題の収集、取材、写真撮影、原稿作成など（年間4回発行予定）1回の取材などで平日の昼夜間に2時間程度、発行予定ごとに平日夜間、1回編集会議への参加があります。

【申し込み】氏名、住所（在勤、在学の方は所在地）、連絡先、在住・在勤・在学の区別を明記の上、下記の芝地区総合支所協働推進課まで、FAXまたは郵送で申し込みください。

【そ の 他】報酬等の支払いはありません。

★本誌の制作には以下の編集委員が参加しています。
伊藤泰子／岩崎秀顕／大澤佳枝／日下部理絵／桑原庸嘉子／小知和千佳子／小林真紀子／佐藤剛志／柴崎郁子／柴崎賢一／千葉みな子／張簡光輝／森明

★今後の発行スケジュールは次の通りです。
H22.8.20発行（第16号）、H22.11.20発行（第17号）、H23.2.20発行（第18号）、H23.5.20発行（第19号）

芝地区地域情報誌の配布について

芝地区総合支所【芝、海岸1丁目、東新橋、新橋、西新橋、三田1～3丁目、浜松町、芝大門、芝公園、虎ノ門、愛宕】内の地域の方にお届けしているほか、地区内各施設にて配布しています。

港区芝地区総合支所協働推進課
所在地：〒105-8511 東京都港区芝公園1丁目5番25号（港区役所2階）
TEL：03-3578-3192　FAX：03-3578-3180
ホームページ：http://www.city.minato.tokyo.jp/sisyo/siba/

再生紙を使用しています